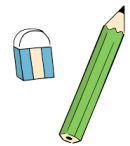




# 「やさしく かしこく たくましく」

## 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日(木)に、文部科学省が実施した全国学力・学習状況調査について、調査結果が公表されましたので、その概要をお知らせします。



### 「全国学力・学習状況調査」

全国の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てること等を目的に、小学校6年生、中学校3年生を対象に文部科学省が実施する全国調査です。「教科に関する調査」と「質問調査」の2つが実施されました。

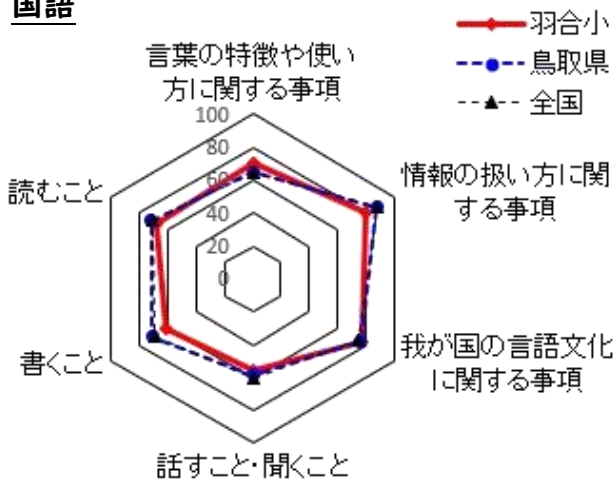
### <教科に関する調査>実施教科:国語、算数

#### 出題内容

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できているようになっていくことが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

平均正答率	国語	算数
羽合小学校	67	66
鳥取県	68	63
全国	67.7	63.4

### 国語



#### <主な状況>

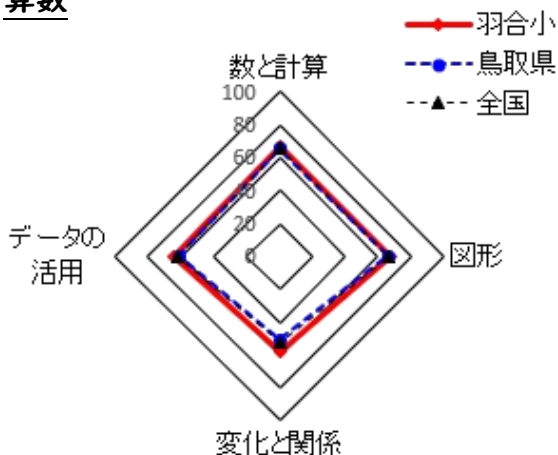
◇「漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題」は、2問とも全国、県平均正答率を上回っていました。

問題	正答率	県比較	全国比較
きょうぎ(競技)	62.0%	+18.0%	+18.6%
なげる(投げる)	78.5%	+1.3%	+2.5%

◇「物語を読んで、心に残ったところと理由を書く問題」のように、条件に合わせて考えを書く問題に課題が見られました。

本校 65.8%(県比較-8.5%、全国比較-6.8%)

### 算数



#### <主な状況>

◇学習指導要領におけるすべての領域で、全国、県平均正答率を上回っていました。特に「変化と関係」領域はすべての設問で全国、県平均正答率を上回っていました。

・「速さの意味について理解しているかどうかをみる問題」  
本校 67.1%(県比較+11.8%、全国比較+13.0%)

◇求め方や理由を記述する問題の無回答率が、全国、県に比べて低い状況でした。

◇「示された求め方を基に、式を選び、開花予想日を求める問題」が、全国平均を-8.8%、県平均を-5.6%下回りました。

## <質問調査>

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査。

### 主な肯定的回答の状況

- 朝食を毎日食べていますか(96.3%) 県比較+1.6%、全国比較+2.6%
- 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか(93.8%) 県比較+9.4%、全国比較+10.9%
- 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか(96.3%) 県比較+4.5%、全国比較+4.7%
- 自分には、よいところがあると思いますか(84.0%) 県比較+0.1%、全国比較-0.1%
- 将来の夢や目標を持っていますか(84.0%) 県比較+2.2%、全国比較+1.6%
- 友達関係に満足していますか(95.0%) 県比較+3.4%、全国比較+3.9%
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか(88.9%) 県比較+5.3%、全国比較+5.4%
- あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか(93.8%) 県比較+6.7%、全国比較+9.6%
- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか(93.8%) 県比較+9.5%、全国比較+11.3%
- ▲学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか<2時間以上>(8.6%) 県比較-9.1%、全国比較-14.9%
- ▲新聞を読んでいますか<週に1回以上>(8.6%) 県比較-4.3%、全国比較-3.0%
- ▲国語の勉強は好きですか(61.8%) 県比較-1.3%、全国比較-0.2%
- ▲算数の勉強は好きですか(56.8%) 県比較-2.3%、全国比較-4.2%



## <今後の取組>

この全国学力・学習状況調査の結果は、小学校1年生から積み上げてきた学習の結果です。本校では、この結果を受け、教職員で結果の分析を行うとともに、教職員が正答率の低かった問題を解き、課題について考える等、今後の授業改善の方向性や各学年が具体的に取り組むことを確認しました。児童たちの力をより一層伸ばしていけるよう授業改善を進めてまいります。

### (具体的な取組例)

- ・ペアやグループで、自分の考えを表現する活動を意図的に行う。
- ・問題文のキーワードに線を引く等を指導し、必要な情報を読み取る力を育成する機会を設ける。
- ・キーワードを使って、何文字以内に、というような条件をつけて自分の考えを書く機会を設ける。



質問調査では、ぐっすりデーの取組や学級会での話し合いの充実等が、肯定的回答の多さにつながっていると考えられることから、今後も取組を工夫しながら継続していきます。「各教科の勉強が好きですか。」の項目について課題が見られることから、授業改善を進め、「できた、わかった。」授業の充実を図っていきます。また、学校の授業以外の勉強(家庭学習)についても全国や県平均に比べ少ない状況でした。学校では、漢字テストに向けて計画的に学習する等、子どもたちが目標をもって家庭学習に取り組めるよう工夫をしていきます。保護者の皆様も引き続きご協力いただきますようお願いいたします。